

# グラウンドゴルフとは

## グラウンドゴルフとは こんなスポーツ

- ボールをクラブで打ち、ゴルフのように何回打ってホールインするかを競います。
- 1982年、今から20年前、鳥取県泊（とまり）村で始められたニュースポーツ。現在も愛好者が急増中。
- だれでも楽しめます。子どもから高齢の方まで、運動の得意不得意に関係なく。
- 制限時間なし。8ホールで大体1時間と少し。2ラウンド回ってほどよい満足感。
- 準備は簡単。スタートマットとホールポストを設置したらOK。
- 審判員はあなた自身。競技中の判定は競技者同士で公平に行います。
- 協議は気楽にプレーできる個人戦が一般的。団体戦もできます。

## ルールも簡単

- ・ホールごとに何打で入るかを競う。（8ホール）
- ・空振りは打数に数えない。
- ・打つ順番は公平さを考え、ローテーションで行う。
- ・プレーのさまたげになるボールは一時的に取り除くことを要求することができ、そのボールの持ち主が行う。その際ホールに対してボールの後方にマークする。
- ・同伴競技者のボールに当たった場合は、そのボールが止まったところから続行。同伴競技者のボールは元の位置に。
- ・打つことの出来ない所にボールが止まったときは、クラブ1本分の範囲内でボールを移動することができる。その際1打を加える。
- ・ホールインワンの場合はその競技者の合計打数から3打差し引く。

## 記録も簡単

競技者名	1	2	3	4	5	6	7	8	合計	順位
国少 太郎	3	7	9	10	12	15	18	21	−③で 18	
	3	4	2	①	2	3	3	3		
							チーム 合計			

※ホールインワンの場合、そのホールは1打とし、最後の合計数から3打を引く。

## みんなで準備

- 事務室で多目的グラウンド倉庫の鍵を借りる。
- 倉庫を開け、ホールポストとスタートマットを設置する。（8ホール分、コース図を見て、目印のポイント（地面に打ってある）上に置く。
- ルールを説明する。（記録用紙やコース図は事前に配布したものをコピーしてグループに配る。）
- グラウンド・ゴルフ用クラブとボール（人数分）を準備する。
  - ・当所には6セット（スティック・ボール36人分）有り。
  - ※マーク（コインのようなもの）とえんぴつは利用団体で用意する。
- 割り当てられたポストナンバーのスタート位置に移動し、グループ内で記録者とローテーションの順番を決めてから、スタートする。